



## 補足機能の設定

---

このモジュールでは、Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) で制御される、Cisco Integrated Services Router (Cisco ISR) や Cisco VG224 Analog Phone Gateway などの Cisco 音声ゲートウェイで、アナログ Foreign Exchange Station (FXS) ポート用 Skinny Client Control Protocol (SCCP) 補足機能をイネーブルにする方法について説明します。

### このモジュール内の機能情報の検索

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースが、このモジュールで説明している機能の一部をサポートしていない場合があります。このモジュール内に記載されている特定の機能のリンクにアクセスする場合、および各機能がサポートされているリリースのリストを参照する場合は、「[Cisco IOS ゲートウェイの補足機能付き SCCP 制御アナログ \(FXS\) ポートの機能情報](#)」(P.97) を参照してください。

### プラットフォーム、および Cisco IOS ソフトウェア イメージの各サポート情報を検索するには

プラットフォームのサポートと、Cisco IOS および Catalyst OS ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスしてください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

## 目次

- 「Cisco IOS ゲートウェイの補足機能付き SCCP 制御アナログ (FXS) ポートの前提条件」 (P.64)
- 「Cisco IOS ゲートウェイの補足機能付き SCCP 制御アナログ (FXS) ポートの制約事項」 (P.65)
- 「Cisco IOS ゲートウェイの補足機能付き SCCP 制御アナログ (FXS) ポートについて」 (P.65)
- 「Cisco IOS ゲートウェイの補足機能付き SCCP アナログ FXS ポートの設定方法」 (P.80)
- 「Cisco IOS ゲートウェイの補足機能付き SCCP 制御アナログ (FXS) ポートの設定例」 (P.92)
- 「参考資料」 (P.95)
- 「Cisco IOS ゲートウェイの補足機能付き SCCP 制御アナログ (FXS) ポートの機能情報」 (P.97)

# Cisco IOS ゲートウェイの補足機能付き SCCP 制御アナログ (FXS) ポートの前提条件

## Cisco IOS ゲートウェイ

- Cisco IOS Release 12.3(11)T 以降のリリース。
- Cisco 音声ゲートウェイの動作がセットアップおよび設定されていること。詳細については、シスコの該当する設定マニュアルを参照してください。
- アナログ FXS 音声ポートの動作がセットアップおよび設定されていること。詳細については、『[Cisco IOS Voice Port Configuration Guide](#)』を参照してください。
- Cisco 音声ゲートウェイで SCCP および SCCP Telephony Control (STC) アプリケーションがイネーブルになっていること。詳しい設定手順については、「[基本コールのための FXS ポートの設定](#)」 (P.29) を参照してください。

## Cisco Unified Communications Manager のアナログ エンドポイント

- Cisco Unified Communications Manager 4.2 以降のバージョン。
- Cisco Unified Communications Manager に電話機が追加され、設定されていること。『[Cisco Unified Communications Manager Administration Guide](#)』の「Call Routing Configuration」にある「Directory Number Configuration」の章と、「Device Configuration」にある「Gateway Configuration」の章を参照してください。

### Cisco Unified CME のアナログ エンドポイント

- Cisco CME 3.2 以降のバージョン。
- アナログ エンドポイント用の Ephone の設定と機能パラメータが Cisco Unified CME で設定されていること。詳細については、『*Cisco Unified CME Administration Guide*』を参照してください。
- アナログ エンドポイントでコール転送を使用するには、Cisco ルータで **transfer-system** コマンドを **full-blind** または **full-consult** に設定します。いずれの設定も、このコマンドのデフォルト設定ではありません。手動で設定する必要があります。設定情報については、『*Cisco Unified CME Administration Guide*』の「**Configuring Call Transfer and Forwarding**」モジュールを参照してください。

次の例は、コール転送方式として完全打診を設定する方法を示しています。

```
Router(config)# telephony-service  
Router(config-telephony)# transfer-system full-consult
```

## Cisco IOS ゲートウェイの補足機能付き SCCP 制御アナログ (FXS) ポートの制約事項

- ソフトウェアベースのアドホック会議で可能な参加者は 3 人までです。既存の 3 者間会議に他者を追加可能な、会議参加者の機能である会議チェーニングはサポートされません。

### Cisco Unified Communications Manager のアナログ エンドポイント

- ローカル グループのピックアップと外部グループのピックアップは、**AutoCallPickupEnabled** サービス パラメータが **True** に設定されている場合のみ、Cisco Unified Communications Manager でサポートされます。
- ダイレクト コール パークおよびダイレクト コール ピックアップは Cisco Unified Communications Manager ではサポートされていません。

## Cisco IOS ゲートウェイの補足機能付き SCCP 制御アナログ (FXS) ポートについて

Cisco 音声ゲートウェイの FXS ポートに接続されたアナログ電話機で SCCP 補足機能をイネーブルにするには、次の概念を理解しておく必要があります。

- 「FXS ポート用 SCCP 補足機能のまとめ」(P.66)
- 「柔軟な機能アクセス コード」(P.75)
- 「SCCP アナログ電話機の拡張短縮ダイヤル」(P.77)
- 「コール待機のキャンセル」(P.78)
- 「SCCP ミートミー会議」(P.78)

## FXS ポート用 SCCP 補足機能のまとめ

表 5 に、FXS ポートに接続されたアナログ電話機でサポートされる SCCP 補足機能と、Cisco コール制御システムで各機能のサポートを設定する方法の説明と情報の一覧を示します。



(注) Cisco Unified CME の個々のコマンドについては、『[Cisco Unified CME Command Reference](#)』を参照してください。

表 5 アナログ FXS ポート用 SCCP 補足機能

機能	電話ユーザが機能にアクセスする方法	コール制御システムの設定
<b>Audible Message-Waiting Indication (AMWI)</b> ユーザに新しいボイスメールを通知します。	新しいボイス メッセージが待機しているときはいつでも、ユーザが受話器を上げると Message Waiting Indication (MWI) トーンが聞こえます。	<b>Cisco Unified Communications Manager</b> 設定については、該当する『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</a> 』の「Voice Mail Configuration」にある「Message Waiting Configuration」の章を参照してください。  <b>Cisco Unified CME</b> 設定については、『 <a href="#">Cisco Unified CME Administration Guide</a> 』の「 <a href="#">Integrating Voice Mail</a> 」を参照してください。
<b>Call Forward Busy (CFB)</b> 呼び出し番号が話中の場合に、相手の電話番号へコールを転送します。	Cisco Unified CME GUI を使用してユーザがアクティブにすることも、Cisco コール制御システムでこの機能を設定し、管理者がアクティブにすることもできます。	<b>Cisco Unified Communications Manager</b> 機能情報については、該当する『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager System Guide</a> 』の「Devices and protocols」にある「Cisco Unified IP Phone」の章の「Phone Features」の項を参照してください。  設定については、該当する『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</a> 』の「Call Routing Configuration」にある「Configuring Directory Numbers」の章を参照してください。  <b>Cisco Unified CME</b> 設定については、『 <a href="#">Cisco Unified CME Administration Guide</a> 』の「 <a href="#">Configuring Call Transfer and Forwarding</a> 」を参照してください。

表 5 アナログ FXS ポート用 SCCP 補足機能 (続き)

機能	電話ユーザが機能にアクセスする方法	コール制御システムの設定
<b>Call Forward No Answer (CFNA)</b> 呼び出し番号に応答がない場合に、相手の電話番号へコールを転送します。	Cisco Unified CME GUI を使用してユーザがアクティブにすることも、Cisco コール制御システムでこの機能を設定し、管理者がアクティブにすることもできます。	<b>Cisco Unified Communications Manager</b> 機能情報については、該当する『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager System Guide</a> 』の「Devices and protocols」にある「Cisco Unified IP Phone」の章の「Phone Features」の項を参照してください。 設定については、該当する『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</a> 』の「Call Routing Configuration」にある「Configuring Directory Numbers」の章を参照してください。 <b>Cisco Unified CME</b> 設定については、『 <a href="#">Cisco Unified CME Administration Guide</a> 』の「Configuring Call Transfer and Forwarding」を参照してください。
<b>コール転送</b> 電話機ユーザがダイヤルする第三者にコールを接続します。	アクティブ コール中にフックフラッシュを押すとダイヤル トーンが聞こえます。ユーザは転送番号をダイヤルし、オンラインでアナウンスを待つ (打診転送)、電話を切ります (ブラインド転送)。ユーザが電話を切ると、コールが転送されます。 <b>(注)</b> ブラインド転送が Cisco Unified CME に設定されている場合、電話機ユーザは電話を切る必要がありません。ダイヤルされた番号を Cisco Unified CME が受け取ると、コールが転送されます。	<b>Cisco Unified Communications Manager</b> 機能情報については、『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager System Guide</a> 』の「Dial Plan Architecture」にある「Understanding Directory Numbers」の章の「Making and Receiving Multiple Calls Per Directory Number」の項を参照してください。 <b>Cisco Unified CME</b> 設定については、『 <a href="#">Cisco Unified CME Administration Guide</a> 』の「Configuring Call Transfer and Forwarding」を参照してください。
<b>コール待機</b> アクティブ コール中に第 2 のコールをアナウンスします。	アクティブ コール中に、ユーザにはコール音が聞こえます。フックフラッシュを押すと、アクティブ コールと着信コール間の切り替えができます。 Cisco Unified Communications Manager のアナログ エンドポイントの場合：コール待機音は、アクティブ ステーションのリング設定により異なります。この音は繰り返し再生されず、一度だけ再生されます。 Cisco Unified CME のアナログ エンドポイントの場合：コール待機音は繰り返し再生されます。	<b>Cisco Unified Communications Manager</b> 機能情報については、『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager System Guide</a> 』の「Dial Plan Architecture」にある「Understanding Route Plans」の章の「Understanding Directory Numbers」の項を参照してください。 <b>Cisco Unified CME</b> Cisco Unified CME での設定作業は不要です。

表 5 アナログ FXS ポート用 SCCP 補足機能 (続き)

機能	電話ユーザが機能にアクセスする方法	コール制御システムの設定
<p><b>発信者 ID</b></p> <p>発番号、発信者名、および通話時間を表示します。</p>	<p>管理者が Cisco コール制御システムでアクティブにします。タイムスタンプは Cisco 音声ゲートウェイから得られます。</p> <p><b>(注)</b> 発信者 ID がローカル telco プロバイダーでサポートされている場合に発信者 ID を表示するには、管理者が該当する Cisco 音声ゲートウェイ ポートで、<b>caller id enable</b> コマンドを使用する必要があります。</p>	<p><b>Cisco Unified Communications Manager</b></p> <p>機能情報については、『<a href="#">Cisco Unified Communications Manager System Guide</a>』の「Dial Plan Architecture」にある「Understanding Route Plans」の章の「Caller Identification and Restriction」の項を参照してください。</p> <p><b>Cisco Unified CME</b></p> <p>ローカル コール (同じ Cisco Unified CME ルータに登録された FXS ポートと IP Phone との間のコール) での発信者 ID 表示：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設定については、『<a href="#">Cisco Unified CME Administration Guide</a>』の「<a href="#">SCCP: Configuring Phones on SCCP Controlled Analog (FXS) Ports</a>」を参照してください。</li> </ul> <p>発信者 ID 表示の制限またはブロック：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設定については、『<a href="#">Cisco Unified CME Administration Guide</a>』の「<a href="#">How to Configure Caller-Id Blocking</a>」を参照してください。</li> </ul>
<p><b>電話会議</b></p> <p>3 者間会議を開始します。</p>	<p>アクティブ コール中に、ユーザがダイヤル トーンに対してフックフラッシュを押して別の参加者にダイヤルし、再度フックフラッシュを押すと、3 者全員に接続されます。</p>	<p><b>Cisco Unified Communications Manager</b></p> <p>機能情報については、『<a href="#">Cisco Unified Communications Manager System Guide</a>』の「Media Resources」にある「Conference Bridges」の章の「Initiating an Ad Hoc Conference Bridge」の項を参照してください。</p> <p><b>Cisco Unified CME</b></p> <p>設定については、『<a href="#">Cisco Unified CME Administration Guide</a>』の「<a href="#">Configuring Conferencing</a>」を参照してください。</p>
<p><b>Cisco IOS SCCP 音声ゲートウェイの固有呼び出し音</b></p> <p>固有呼び出し音をイネーブルにすると、着信コールが内線からか外線からかをユーザに通知できます。</p>	<p>システム管理者は、音声ゲートウェイポートに、内線と外線の両方に対して呼び出し音パターンを設定します。</p>	<p>設定するには、『<a href="#">Cisco IOS Voice Command Reference</a>』の ring cadence コマンドを参照してください。</p>

表 5 アナログ FXS ポート用 SCCP 補足機能 (続き)

機能	電話ユーザが機能にアクセスする方法	コール制御システムの設定
<p><b>Feature Access Code (FAC; 機能アクセスコード)</b></p> <p>省略コードを使用して機能にアクセスします。</p> <p><b>柔軟性のある FAC</b></p> <p>SCCP 機能にアクセスする機能コードをダイヤルする前に、電話機ユーザがプレフィクスをダイヤルしなくてもよいよう、FAC 用の機能コードを設定できます。</p> <p><b>柔軟性のある FAC (拡張版)</b></p> <p>SCCP 機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィクスまたは特殊文字をダイヤルしなくてもよいよう、FAC 用の機能コードを設定できます。</p>	<p>ユーザは FAC をダイヤルして機能にアクセスします。FAC は通常、プレフィクスと機能コードから構成されます。</p> <p>FAC をダイヤルしてアクセスできる STC アプリケーション コール機能のリストについては、表 6 を参照してください。</p> <p>(注) <b>stcapp feature access-code</b> コマンドが、Cisco 音声ゲートウェイでイネーブルになっている必要があります。</p>	<p>FAC を設定できる個々の STC アプリケーション コールの機能情報と設定情報については、表 6 を参照してください。</p>
<p><b>リダイヤル</b></p> <p>この電話機から最後にかけた番号をもう一度ダイヤルします。</p>	<p>ユーザは機能短縮ダイヤル (FSD) プレフィクスとリダイヤル コードをダイヤルします。デフォルトのプレフィクスとコードは *# です。</p> <p>(注) <b>stcapp feature speed-dial</b> コマンドが、Cisco 音声ゲートウェイでイネーブルになっている必要があります。</p>	<p>Cisco コール制御システムでの設定作業は不要です。</p>

表 5 アナログ FXS ポート用 SCCP 補足機能 (続き)

機能	電話ユーザが機能にアクセスする方法	コール制御システムの設定
<b>短縮ダイヤル</b> 省略コードを使用して電話番号をダイヤルします。	<b>最大 99 件の短縮ダイヤル (ローカル電話機)</b> ユーザは FSD プレフィクスと必要な短縮ダイヤル コードをダイヤルします。 <b>digit</b> コマンドにより、Cisco 音声ゲートウェイで FSD コードに使用する桁数が決まります。 デフォルトのプレフィクスとコード範囲は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• *1 から *9 までの 1 桁のコード</li> <li>• *01 から *99 までの 2 桁のコード</li> </ul> Cisco Unified CME GUI を使用してユーザが短縮ダイヤルの通話先を保存することも、管理者が Cisco コール制御システムに通話先を保存することもできます。 <p>(注) <b>stcapp feature speed-dial</b> コマンドが、Cisco 音声ゲートウェイでイネーブルになっている必要があります。</p>	<b>Cisco Unified Communications Manager</b> 機能情報については、該当する『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager System Guide</a> 』の「Devices and protocols」にある「Cisco Unified IP Phones」の章の「Phone Features」の項を参照してください。 設定については、『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</a> 』の「Device Configuration」にある「Cisco Unified Phone Configuration」の章の「Configuring Speed-Dial Buttons」の項を参照してください。 <b>Cisco Unified CME</b> 設定については、『 <a href="#">Cisco Unified CME Administration Guide</a> 』の「 <a href="#">Configuring Speed Dial</a> 」を参照してください。
	<b>最大 9,999 件の短縮ダイヤル (システム全体)</b> ユーザはアクセス コードと短縮ダイヤル番号をダイヤルします。管理者が Cisco コール制御システムでアクティブにします。	<b>Cisco Unified Communications Manager</b> 設定については、該当する『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</a> 』の「Call Routing Configuration」にある「Translation Pattern Configuration」の章を参照してください。 <b>Cisco Unified CME</b> 設定については、『 <a href="#">Cisco Unified CME Administration Guide</a> 』の「 <a href="#">Configuring Speed Dial</a> 」を参照してください。
<b>ボイスメールの短縮ダイヤル</b> 省略コードを使用してボイスメール番号をダイヤルします。	ユーザは FSD プレフィクスとボイスメールの短縮ダイヤル コードをダイヤルします。 <b>digit</b> コマンドにより、FSD コードに使用する桁数が決まります。 デフォルトのプレフィクスとコードは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• *0 : 1 桁のコード</li> <li>• *00 : 2 桁のコード</li> </ul> <p>(注) <b>stcapp feature speed-dial</b> コマンドが、Cisco 音声ゲートウェイでイネーブルになっている必要があります。</p>	<b>Cisco Unified Communications Manager</b> 設定については、該当する『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</a> 』の「Voice Mail Configuration」にある「Cisco Voice-Mail Pilot Configuration」の章を参照してください。 <b>Cisco Unified CME</b> 設定については、『 <a href="#">Cisco Unified CME Administration Guide</a> 』の「 <a href="#">Integrating Voice Mail</a> 」を参照してください。



表 6 アナログ FXS ポート用 SCCP 補足機能の FAC

機能	電話ユーザが機能にアクセスする方法	コール制御システムの設定
<p><b>Call Forward All (CFA)</b> すべてのコールを相手の電話番号に転送します。</p>	<p>ユーザは Feature Access Code (FAC) プレフィックスとすべてのコールの自動転送コードをダイヤルし、続いて確認トーンと相手の電話番号をダイヤルします。デフォルトのプレフィックスとコードは **1 です。</p> <p>CFA がアクティブになると、ユーザが受話器を取り上げたときに、すべての着信コールが転送されることを示すスタタ音が聞こえます。</p> <p>CFA がアクティブになってから、電話機ユーザがこの機能をアクティブにしようとする、ファースト ビジー トーンが聞こえます。</p> <p>(注) <b>stcapp feature access-code</b> コマンドが、Cisco 音声ゲートウェイでイネーブルになっている必要があります。</p>	<p><b>Cisco Unified Communications Manager</b></p> <p>機能情報については、該当する『<a href="#">Cisco Unified Communications Manager System Guide</a>』の「Devices and Protocols」にある「Cisco Unified IP Phone」の章の「Phone Features」の項を参照してください。</p> <p>設定については、該当する『<a href="#">Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</a>』の「Call Routing Configuration」にある「Configuring Directory Numbers」の章を参照してください。</p> <p><b>Cisco Unified CME</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設定については、『<a href="#">Cisco Unified CME System Administrator Guide</a>』の「How to Configure Call Transfer and Forwarding」を参照してください。</li> <li>相手先への自動転送番号用にダイヤルできる桁数を制限するには、Cisco Unified CME で <b>call-forward max-length</b> コマンドを使用します。</li> <li>転送されたコールの相手先は、ルータ設定か、FAC を使用した電話機に指定できません。最後に入力された宛先が、入力方法にかかわらず Cisco Unified CME により認識されます。</li> </ul>

表 6 アナログ FXS ポート用 SCCP 補足機能の FAC (続き)

機能	電話ユーザが機能にアクセスする方法	コール制御システムの設定
<p><b>Call Forward All Cancel</b></p> <p>アクティブな CFA 状態をキャンセルします。</p>	<p>ユーザは FAC プレフィクスと、コールの自動転送をすべてキャンセルするコードをダイヤルします。デフォルトのプレフィクスとコードは **2 です。</p> <p>CFA がキャンセルされると、ユーザが受話器を取り上げたときに、着信コールがこれ以上転送されないことを示す確認トーンが聞こえます。</p> <p>(注) <b>stcapp feature access-code</b> コマンドが、Cisco 音声ゲートウェイでイネーブルになっている必要があります。</p>	<p><b>Cisco Unified Communications Manager</b></p> <p>機能情報については、該当する『<i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i>』の「Devices and Protocols」にある「Cisco Unified IP Phone」の章の「Phone Features」の項を参照してください。</p> <p>設定については、該当する『<i>Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</i>』の「Call Routing Configuration」にある「Configuring Directory Numbers」の章を参照してください。</p> <p><b>Cisco Unified CME</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設定については、『<i>Cisco Unified CME Administration Guide</i>』の「Configuring Call Transfer and Forwarding」を参照してください。</li> <li><b>no call-forward all</b> コマンドでもアクティブにできます。</li> </ul>
<p><b>Call Park Directed</b> <b>Call Pickup Directed</b></p> <p>通話を誰でも取得できるように、指定された内線で通話を保留にします。</p>	<p>アクティブ コール中に、ユーザはダイヤル トーンに対してフックフラッシュを押し、コール制御システムで制御されたコール パーク スロット番号をダイヤルします。</p> <p>ユーザは、FAC プレフィクス、ダイレクト ピックアップ コード、コールがパークされた場所のコール パーク スロット番号をダイヤルしてコールを取得します。デフォルトのプレフィクスとコードは **6 です。たとえば、コールがスロット 1211 でパークされると、ユーザは **61211 とダイヤルします。</p> <p>FAC プレフィクス、ダイレクト ピックアップ コード、アスタリスク (*) をダイヤルして、固有の内線でパークされた最後のコールを取得することもできます。デフォルトのプレフィクスとコードは **6* です。</p> <p>(注) <b>stcapp feature access-code</b> コマンドが、Cisco 音声ゲートウェイでイネーブルになっている必要があります。</p>	<p><b>Cisco Unified Communications Manager</b></p> <p>この機能は Cisco Unified Communications Manager でサポートされていません。</p> <p><b>Cisco Unified CME</b></p> <p>設定については、『<i>Cisco Unified CME Administration Guide</i>』の「Configuring Call Coverage Features」を参照してください。</p>

表 6 アナログ FXS ポート用 SCCP 補足機能の FAC (続き)

機能	電話ユーザが機能にアクセスする方法	コール制御システムの設定
<b>Call Pickup of Ringing Extension, Directed</b> 呼び出し音が鳴っている電話機以外の電話機で、着信コールをピックアップできます。	ユーザは、FAC プレフィクス、ダイレクトピックアップコード、呼び出し音が鳴っている内線番号をダイヤルして、呼び出し音が鳴っている内線をピックアップします。デフォルトのプレフィクスとコードは **6 です。 <b>(注) stcapp feature access-code</b> コマンドが、Cisco 音声ゲートウェイでイネーブルになっている必要があります。	<b>Cisco Unified Communications Manager</b> この機能は Cisco Unified Communications Manager のアナログ エンドポイントでサポートされていません。 <b>Cisco Unified CME</b> Cisco Unified CME での設定作業は不要です。
<b>Call Pickup Group</b> ユーザと異なるピックアップグループの着信コールをピックアップできます。	ユーザは、FAC プレフィクス、グループピックアップコード、ピックアップグループの番号をダイヤルして、呼び出し音が鳴っている内線をピックアップします。デフォルトのプレフィクスとコードは **4 です。 <b>(注) stcapp feature access-code</b> コマンドが、Cisco 音声ゲートウェイでイネーブルになっている必要があります。	<b>Cisco Unified Communications Manager</b> <b>AutoCallPickupEnabled</b> サービスパラメータが True に設定されている必要があります。 機能情報については、該当する『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager System Guide</a> 』の「Call Configuration」にある「Translation Pattern Configuration」の章の「Call Pickup」の項を参照してください。 設定については、該当する『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</a> 』の「Call Routing Configuration」にある「Pick Up Phone Configuration」の章を参照してください。 <b>Cisco Unified CME</b> 設定については、『 <a href="#">Cisco Unified CME Administration Guide</a> 』の「 <a href="#">Configuring Call Coverage Features</a> 」を参照してください。
<b>Call Pickup Local</b> ユーザと同じピックアップグループの着信コールをピックアップできます。	ユーザは、FAC プレフィクスとローカルピックアップコードをダイヤルして、呼び出し音が鳴っている内線をピックアップします。デフォルトのプレフィクスとコードは **3 です。 <b>(注) stcapp feature access-code</b> コマンドが、Cisco 音声ゲートウェイでイネーブルになっている必要があります。	<b>Cisco Unified Communications Manager</b> <b>AutoCallPickupEnabled</b> サービスパラメータが True に設定されている必要があります。 設定については、該当する『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</a> 』の「Call Routing Configuration」にある「Pick Up Phone Configuration」の章を参照してください。 <b>Cisco Unified CME</b> 設定については、『 <a href="#">Cisco Unified CME Administration Guide</a> 』の「 <a href="#">Configuring Call Coverage Features</a> 」を参照してください。

表 6 アナログ FXS ポート用 SCCP 補足機能の FAC (続き)

機能	電話ユーザが機能にアクセスする方法	コール制御システムの設定
<p><b>コール待機のキャンセル</b></p> <p>コール中にコール待機サービスをキャンセルします。</p>	<p>ユーザはコール待機のキャンセル FAC をダイヤルし、再コールのダイヤル トーンを受け取り、コールを発信します。デフォルトのプレフィクスとコードは **8 です。</p>	<p><b>Cisco Unified Communications Manager</b></p> <p>機能情報については、該当する『<i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i>』の「Devices and Protocols」にある「Cisco Unified IP Phone」の章の「Phone Features」の項を参照してください。</p> <p>設定については、該当する『<i>Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</i>』の「Call Routing Configuration」にある「Configuring Directory Numbers」の章を参照してください。</p> <p><b>Cisco Unified CME</b></p> <p>Cisco Unified CME での設定作業は不要です。</p>
<p><b>Forward to Voice Mail</b></p> <p>コールをボイスメールに転送します。</p>	<p>ユーザは FAC プレフィクスとボイスメール コードをダイヤルします。デフォルトのプレフィクスとコードは **7 です。</p> <p>(注) <b>stcapp feature access-code</b> コマンドが、Cisco 音声ゲートウェイでイネーブルになっている必要があります。</p>	<p><b>Cisco Unified Communications Manager</b></p> <p>機能情報については、該当する『<i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i>』の「Devices and Protocols」にある「Cisco Unified IP Phone」の章の「Phone Features」の項を参照してください。</p> <p>設定については、該当する『<i>Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</i>』の「Call Routing Configuration」にある「Configuring Directory Numbers」の章を参照してください。</p>

表 6 アナログ FXS ポート用 SCCP 補足機能の FAC (続き)

機能	電話ユーザが機能にアクセスする方法	コール制御システムの設定
<p><b>SCCP ミートミー会議</b></p> <p>アナログ SCCP 電話機ユーザが、ミートミー電話会議を開始または参加できます。</p>	<p>ミートミー電話会議を開始するには、ユーザは FAC プレフィクスとミートミー会議コードをダイヤルし、続いて確認トーンとミートミー会議番号をダイヤルします。デフォルトのプレフィクスとコードは *5 です。</p> <p>会議の参加者は、ミートミー電話会議番号をダイヤルして会議に参加できます。会議コントローラが参加する前に参加者が会議番号をコールした場合、参加者にはビジー トーンが聞こえます。この場合、参加者は電話をかけ直す必要があります。</p> <p>ミートミー電話会議を終了するには、参加者全員が電話を切る必要があります。会議コントローラが電話を切っても、会議は自動的に終了しません。</p> <p>会議コントローラがミートミー電話会議を開始する前に、システム管理者が Cisco コール制御システムにミートミー電話会議を設定する必要があります。</p> <p><b>(注)</b> <code>stcapp feature access-code</code> コマンドが、Cisco 音声ゲートウェイでイネーブルになっている必要があります。</p>	<p><b>Cisco Unified Communications Manager</b></p> <p>設定については、次を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>該当する『<a href="#">Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</a>』の「Media Resource Configuration」の章にある「Conference Bridge Configuration」の項を参照してください。</li> <li>該当する『<a href="#">Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</a>』の「Call Routing」の章にある「Meet-Me Number/Pattern Configuration」の項を参照してください。</li> </ul> <p><b>Cisco Unified CME</b></p> <p>ミートミー電話会議とミートミー電話会議番号の設定については、『<a href="#">Cisco Unified CME Administration Guide</a>』の「<a href="#">SCCP: Configuring Conferencing</a>」を参照してください。</p>

## 柔軟な機能アクセス コード

音声ゲートウェイに接続しているアナログ電話機で、特定の STC アプリケーション コール機能にアクセスするには、電話機ユーザはプレフィクスと機能コード (\*\*1 など) から構成される FAC をダイヤルする必要があります。

FAC のプレフィクスは、アスタリスク (\*) または番号記号 (#) で始まる 1 ~ 5 文字のコードです。デフォルト値は \*\* です。

Cisco IOS 12.4(20)YA 以前のリリースでは、FAC の機能コードは 1 文字 (0 ~ 9、\*、または #) に制限されていました。Cisco IOS 12.4(20)YA 以降のリリースでは、柔軟な FAC 機能により、次のように機能コードを設定できます。

- プレフィクスをダイヤルしてから機能コードをダイヤルする場合、電話機のキーパッドでダイヤルできる 1 文字 (0 ~ 9、\*、または #) あるいは 2 桁の数字 (00 ~ 99) を設定できます。
- 機能にアクセスするためにプレフィクスをダイヤルする必要のない機能コードの場合、電話機のキーパッドでダイヤルできる 2 ~ 4 文字を設定できます。先頭文字または末尾文字はアスタリスク (\*) またはシャープ (#) にする必要があります。
- 特定の FAC のデフォルト値を表 6 に示します。

柔軟性のある FAC によって、アナログ電話機での SCCP 機能にアクセスするために機能コードをダイヤルする前に電話機ユーザがプレフィクスをダイヤルしなくてもよいように、FAC 用に機能コードを設定できるようになります。2 文字以上で先頭文字または末尾文字がアスタリスク (\*) またはシャープ (#) になっている機能コードを設定した場合は、機能へのアクセスにプレフィクスは必要ありません。たとえば、コール転送のキャンセルに、機能コード 78# を設定すると、電話機ユーザはこの機能にアクセスするために機能コード (78#) をダイヤルするだけで済みます。コール転送のキャンセルに、機能コード 78 を設定すると、電話機ユーザはこの機能にアクセスするために機能コード (78) に加えて、何らかのプレフィクスもダイヤルする必要があります。

すでに別の機能コード、短縮ダイヤルコード、またはリダイヤル FSD 向けに設定されている値に機能コードを設定しようとすると、警告メッセージが表示されます。重複するコードを設定した場合、システムは `show stcapp` 機能コード コマンドの出力で示される順に従い、最初に一致した機能を実装します。優先順位は個々の機能コードの値で決まります。

除外された値か、別の機能コード、短縮ダイヤルコード、またはリダイヤル FSD によって除外される値に機能コードを設定しようとすると、警告メッセージが出されます。たとえば、機能コード #123 を設定しようとして、#12 がすでにコール転送のキャンセルなどの別の機能向けに設定されていると、次のメッセージが表示されます。

```
#123 is precluded by call forward cancel(#12)
```

あるいは、機能コード #1 を設定しようとして、#12 がすでにコール転送のキャンセルなどの別の機能向けに設定されていると、次のメッセージが表示されます。

```
#1 precludes call forward cancel(#12)
```

これらのメッセージは機能コードの設定を妨げるものではありません。

電話機ユーザが FAC または FSD をダイヤルしてから、システムは次の順序で、ダイヤルされたストリングと、設定された FAC、リダイヤルコード、および短縮ダイヤルコードを照合し、最初に完全に一致した結果を実行します。それよりも長い機能コードは無視されます。

- Malicious Call ID (MCID)
- Call Forward All
- Call Forward Cancel
- Pickup Local Group
- Pickup Different Group
- Pickup Direct
- Redial
- Speeddial1
- Speeddial2
- Speeddial3
- その他

たとえば、すべての Call Forward All が #123 で、Call forward Cancel が #12、Pickup Local Group と Redial がどちらも #1 であるとします。電話機ユーザが #1 をダイヤルすると、システムはダイヤルされた文字を、リストの順序で設定コードと照合します。#1 は最初の完全一致であるため、Pickup Local Group が実行されます。電話機ユーザが #12 をダイヤルすると、#1 が完全一致であり、システムが Pickup Local Group を再び実行するため、数字の 2 は無視されます。この設定では、すべてが Pickup Local Group (#1) で除外されてしまうため、電話機ユーザは、Call Forward All (#123)、Call Forward Cancel (#12)、または Redial (#1) にアクセスできません。除外された機能の FAC をイネーブルにするには、その機能コード用に新しい値を設定する必要があります。

アナログ FXS ポートで FAC をイネーブルにして設定するには、「機能アクセス コードの設定」(P.80)を参照してください。

## 柔軟な機能アクセス コード (拡張版)

Cisco IOS 15.0(1)M 以降のリリースでは、すべてが数字の 3 桁または 4 桁の機能コードを設定できます。これで、ユーザはプレフィクスまたは特殊文字をダイヤルする必要がなくなります。たとえば、Call Forward Cancel に機能コード 788 を設定すると、電話機ユーザはこの機能にアクセスするために機能コード (788) をダイヤルするだけで済みます。

## 柔軟性のある機能アクセス コードのリダイヤル サポート

柔軟性のある FAC はリダイヤルをサポートしています。FSD を使用してリダイヤルにアクセスするには、アナログ電話機ユーザは、プレフィクスと短縮ダイヤル コードをダイヤルする必要があります。リダイヤル用のデフォルトのプレフィクスと短縮ダイヤル コードは \*# です。

Cisco IOS 12.4(20)YA 以降のリリースでは、電話機のキーパッドでダイヤルできる 1 文字または 2 文字のリダイヤル用短縮ダイヤル コードを設定した場合、電話機ユーザは、短縮ダイヤルをダイヤルする前に FSD プレフィクスをダイヤルする必要があります。2 ~ 4 文字のリダイヤル用短縮ダイヤル コードを設定し、先頭文字または末尾文字がアスタリスク (\*) かシャープ (#) である場合、電話機ユーザは、リダイヤル用短縮コードをダイヤルする前に FSD プレフィクスをダイヤルする必要はありません。

Cisco IOS 15.0(1)M 以降のリリースでは、3 文字または 4 文字のリダイヤル用短縮ダイヤル コードを設定できます。これで、電話機ユーザは、リダイヤル用短縮コードのダイヤルで、FSD プレフィクスまたは特殊文字をダイヤルする必要がなくなります。

詳しい設定手順については、「機能短縮ダイヤル コードのイネーブル化と変更」(P.87)を参照してください。

## SCCP アナログ電話機の拡張短縮ダイヤル

STC アプリケーションで使用する事前定義された短縮ダイヤル番号にアクセスするには、アナログ電話機ユーザは、プレフィクスと短縮ダイヤル コード (\*9 など) から構成される FSD をダイヤルする必要があります。FSD プレフィクスと短縮ダイヤル コードが Cisco 音声ゲートウェイに設定され、短縮ダイヤルされた電話番号がご使用の Cisco コール制御システムに設定される必要があります。

Cisco 音声ゲートウェイ上の短縮ダイヤル コードが、ポジション 1 から始まるコール制御デバイス上の短縮ダイヤルのポジションにマップされます。たとえば、短縮ダイヤル コード 00 ~ 20 までを Cisco 音声ゲートウェイに設定すると、システムによって、コード 00 はコール制御デバイスの短縮ダイヤル 1 に、コード 01 は短縮ダイヤル 2 に、コード 02 は短縮ダイヤル 3 (以降同様) にマップされます。アナログ電話機で 00 をダイヤルすると、短縮ダイヤル 1 に関連付けられた電話番号がダイヤルされます。

Cisco IOS 12.4(6)T よりも前のリリースでは、FSD の短縮ダイヤルは 0 ~ 9 までの 1 桁の数字に制限されていました。Cisco IOS 12.4(6)T 以降のリリースでは、コール制御デバイス上に設定された 99 件までのローカル短縮ダイヤル番号にアクセスする 2 桁の短縮ダイヤル コードを定義できます。

Cisco IOS 15.0(1)M 以降のリリースでは、ボイスメールへの短縮ダイヤルについては、プレフィクスなしの 3 桁または 4 桁の FAC をダイヤルできます。次に例を示します。

```
VG224(config)#stcapp feature speed-dial
VG224(config-stcapp-fsd)#voicemail 777
do not use prefix. voicemail is 777
```

柔軟な FAC は、リダイヤル用の FSD をサポートします。Cisco IOS 12.4(20)YA 以降のリリースで、電話機のキーパッドでダイヤルできる 2 ~ 4 文字のリダイヤル用短縮ダイヤルコードを設定し、先頭文字または末尾文字がアスタリスク (\*) かシャープ (#) である場合、電話機ユーザは、リダイヤル用短縮コードをダイヤルする前に FSD プレフィックスをダイヤルする必要はありません。柔軟な FAC の詳細については、「[柔軟な機能アクセスコード](#)」(P.75) を参照してください。

アナログ FXS ポートで FSD をイネーブルにするには、「[機能短縮ダイヤルコードのイネーブル化と変更](#)」(P.87) を参照してください。

9,999 件までのバルク短縮ダイヤルコードを使用する場合は、Cisco 音声ゲートウェイでの設定は不要です。アナログ電話機ユーザは、バルク短縮ダイヤルへのアクセスで FSD プレフィックスまたは短縮ダイヤルコードを使用する必要はありません。9,999 件までの短縮ダイヤルの設定の詳細については、ご使用の Cisco コール制御システムのマニュアルを参照してください。

## コール待機のキャンセル

Cisco IOS 15.1(1)T 以降のリリースでは、コール待機のキャンセル機能によって、コール待機サービスを備えた電話機ユーザが、1 回のコールでコール待機機能を無効にできます。ユーザがコール待機のキャンセル FAC をダイヤルすると、再コールのダイヤルトーンが聞こえ、コールは通常通り発信されます。このコール中は、コール待機サービスは非アクティブになっています。ユーザへの発信はすべて通常どおりビジョーとして処理され、コール待機トーンがユーザのアクティブコールを妨げることはありません。コール待機のキャンセルは、ユーザがコールの接続を解除すると自動的に非アクティブになります。

詳しい設定手順については、「[機能アクセスコードの設定](#)」(P.80) を参照してください。

## SCCP ミートミー会議

Cisco IOS 12.4(20)YA 以降のリリースでは、Cisco 音声ゲートウェイに接続しているアナログ電話機で、ハードウェアベースのミートミー会議がサポートされています。ハードウェアベースの会議のユーザは、シグナルプロセッサ (DSP) を使用すると、ソフトウェアベースのアドホック会議で許可される 3 人よりも多くの参加者が、会議に参加できるようになります。ミートミー会議には、Cisco コール制御システムで作成され、会議の排他的利用のために割り当てられた、一定範囲のミートミー会議番号が必要です。

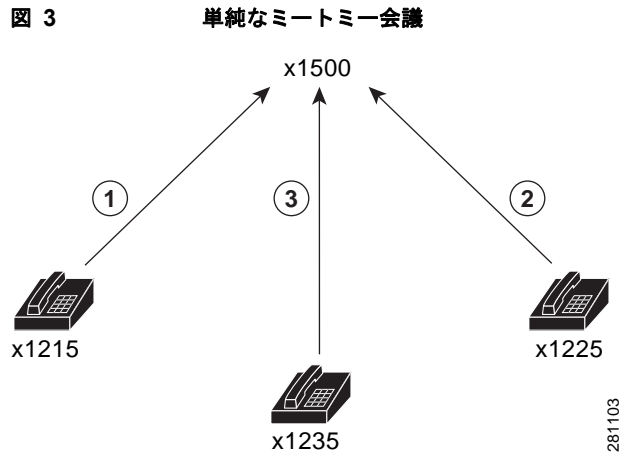
音声ゲートウェイに接続されたアナログ電話機で SCCP ミートミー会議を開始するには、プレフィックスと機能コードから構成される FAC をダイヤルする必要があります。SCCP ミートミー会議のデフォルトの FAC は \*\*5 です。

Cisco コール制御システムでは、ミートミー会議を開始したユーザが会議コントローラと見なされます。ミートミー会議のセットアップ後は、ミートミー会議番号を選択し、その番号を会議の参加者にアドバタイズします。参加者がこの番号に電話をかけると会議に参加できます。会議がアクティブな間に会議番号に電話をかけたすべてのユーザは、参加者数が会議タイプに指定されている参加者の最大数を超えず、会議デバイスに十分なストリームが利用可能な場合に、会議に参加できます。

図 3 では、内線番号 1215、1225、および 1235 が、内線番号 1500 でのミートミー会議内の全参加者です。会議は次のようにして作成されます。

1. 内線番号 1215 の会議コントローラが SCCP ミートミー会議用の FAC を押すと確認音が聞こえます。次に、会議番号の 1500 をダイヤルします。
2. 内線番号 1225 と 1235 が 1500 をダイヤルし、ミートミー会議に参加します。
3. 内線番号 1235 が 1500 をダイヤルし、ミートミー会議に参加します。





他の電話機ユーザがミートミー FAC を押してから同じミートミー電話会議番号をダイヤルすると、Cisco コール制御システムはこのシグナルを無視します。

会議コントローラが電話を切ってもミートミー電話会議は引き続き実施されます。

参加者の 1 人が電話を切るのを忘れていた場合など、ミートミー会議に残っている参加者が 1 人のみの場合は、5 分後に会議コールが切断されて、システム リソースが解放されます。

参加者が会議に参加するのを待っている間、会議コントローラがその会議の唯一の参加者となっている場合は、あまり多くのリソースが使用されていないため、この会議は切断されません。

詳しい設定手順については、「[機能アクセスコードの設定](#)」(P.80) を参照してください。

# Cisco IOS ゲートウェイの補足機能付き SCCP アナログ FXS ポートの設定方法



(注)

本書では、Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified CME の詳しい設定方法は説明しません。インストールおよび設定手順については、該当する製品のマニュアルを参照してください。

ここでは、SCCP アナログ電話機サポートをセットアップするための、次の作業について説明します。

- 「機能アクセスコードの設定」(P.80) (任意)
- 「機能短縮ダイヤルコードのイネーブル化と変更」(P.87) (任意)

## 機能アクセスコードの設定

デフォルト(\*\*)以外のプレフィクス、または特定の機能のデフォルト以外の機能コードを定義するために、FAC をイネーブルにし、STC アプリケーション機能アクセスコード コンフィギュレーションモードを開始するには、次の手順を実行します。



(注)

リダイヤル用の FSD に限り、柔軟性のある機能アクセスコード機能による影響も受けます。リダイヤル機能にアクセスするために、電話機ユーザが短縮ダイヤルコードをダイヤルするだけで済むようにする場合、**redial** コマンドを使用して、先頭または末尾がアスタリスク(\*)かシャープ(#)である、リダイヤル短縮ダイヤルコードを設定します。詳しい設定手順については、「機能短縮ダイヤルコードのイネーブル化と変更」(P.87)を参照してください。



(注)

Cisco IOS 15.0(1)M 以降のリリースでは、stcapp FAC に含まれるすべての機能と、stcapp 機能短縮ダイヤルに含まれるボイスメールに対して、ユーザはプレフィクスなしの3桁または4桁の数字をダイヤルできます。

## 前提条件

- Cisco IOS Release 12.4(2) 以降のリリース。
- ユーザがプレフィクスをダイヤルする必要のない FAC を設定する場合は、Cisco IOS Release 12.4(20)YA 以降のリリース。
- 数字だけの機能コードを設定する場合は、Cisco IOS Release 15.0(1)M 以降のリリース。

### Cisco Unified Communications Manager の SCCP ミートミー会議およびアナログエンドポイントの場合

- Cisco Unified Communications Manager にハードウェア会議ブリッジが設定されています。同一のブリッジ名を、ハードウェア会議ブリッジと Cisco IOS ブリッジ用に設定してください。セキュリティモードは、暗号化、認証、非セキュアのいずれでもかまいません。該当する『[Cisco Unified Communications Manager Administration Guide](#)』の「Media Resource Configuration」の章にある「Conference Bridge Configuration」の項を参照してください。
- ミートミー ページおよび会議番号は Cisco Unified Communications Manager で設定されます。該当する『[Cisco Unified Communications Manager Administration Guide](#)』の「Call Routing」の章にある「Meet-Me Number/Pattern Configuration」の項を参照してください。

### Cisco Unified CME の SCCP ミートミー会議およびアナログ エンドポイントの場合

- ミートミー会議およびミートミー会議番号は Cisco Unified CME で設定されます。設定については、『*Cisco Unified CME System Administrator Guide*』の「[How to Configure Conferencing](#)」を参照してください。

## 制約事項

- Cisco IOS 12.4(20)YA 以降のリリースで、複数の機能コードまたは短縮ダイヤルコード、あるいはリダイヤル FSD に同じ値を設定すると、システムは、**show stcapp feature codes** コマンドの出力で示される優先順位の中で、最初に一致した機能を実装します。
- Cisco IOS 12.4(20)YA 以降のリリースで、FAC の機能コードまたはリダイヤル FSD を含む FSD の短縮ダイヤルコードに、除外した値または別のコードで除外された値を設定すると、システムは、最初に最短の機能コードで機能を実装します。除外されたコードは実装できません。

### SCCP ミートミー会議の場合

- 各 Cisco Unified Communications Manager サーバで同時に開催できるミートミー会議の数は、最大 100 です。
- Cisco Unified CME で開催できるミートミー会議の数は、G.711 コーデックを使用した DSP では最大 32、G.729 コーデックを使用した DSP では最大 16 です。

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **stcapp feature access-code**
4. **prefix *prefix-string***
5. **call forward all *keypad-character***
6. **call forward cancel *keypad-character***
7. **cancel-call-waiting *keypad-character***
8. **meetme-conference *keypad-character***
9. **pickup local *keypad-character***
10. **pickup group *keypad-character***
11. **pickup direct *keypad-character***
12. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>enable</code>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 <ul style="list-style-type: none"><li>プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。</li></ul>
ステップ 2	<code>configure terminal</code>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<code>stcapp feature access-code</code>  例： Router(config)# stcapp feature access-code	FAC をイネーブルにして、STC アプリケーション機能アクセスコード コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	<code>prefix prefix-string</code>  例： Router(config-stcapp-fac)# prefix *#	(任意) 次のキーパッド文字が機能アクセスコードを示すように、プレフィクス スtring を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li><code>prefix-string</code> : 電話機のキーパッドでダイヤルできる 1 ~ 5 文字。先頭の文字はアスタリスク (*) またはシャープ (#) にする必要があります。デフォルト値は ** です。</li><li><code>prefix</code> コマンドを設定すると、すべての FAC のプレフィクスが変更されます。</li></ul>
ステップ 5	<code>call forward all keypad-character</code>  例： Router(config-stcapp-fac)# call forward all 2	(任意) すべての FXS ポートですべてのコールの自動転送をイネーブルにするために使用するコードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li><code>keypad-character</code> : 電話機のキーパッドでダイヤルできる String。デフォルト値は 1 です。</li><li>Cisco IOS Release 12.4(20)YA およびそれ以前のリリースでは 1 文字です。値は、0 ~ 9、#、または * です。</li><li>Cisco IOS Release 12.4(20)YA 以降のリリースでは、<code>keypad-character</code> の長さは 1 文字または 2 桁の数字 (00 ~ 99) です。</li></ul> または <ul style="list-style-type: none"><li>この機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィクスをダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、<code>keypad-character</code> の長さは 2 ~ 4 文字で、先頭文字または末尾文字をアスタリスク (*) またはシャープ (#) にする必要があります。</li><li>Cisco IOS 15.0(1)M 以降のリリースで、この機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィクスまたは特殊文字をダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、<code>keypad-character</code> の長さを 3 桁または 4 桁の数字 (000 ~ 9999) にする必要があります。</li></ul>

コマンドまたはアクション	目的
<p><b>ステップ 6</b> <code>call forward cancel keypad-character</code></p> <p><b>例:</b> Router(config-stcapp-fac)# call forward cancel 3</p>	<p>(任意) すべての FXS ポートですべてのコールの自動転送をキャンセルするためのコードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>keypad-character</i> : 電話機のキーパッドでダイヤルできるストリング。デフォルト値は 2 です。</li> <li>• Cisco IOS Release 12.4(20)YA およびそれ以前のリリースでは 1 文字です。値は、0 ~ 9、#、または * です。</li> <li>• Cisco IOS Release 12.4(20)YA 以降のリリースでは、<i>keypad-character</i> の長さは 1 文字または 2 桁の数字 (00 ~ 99) です。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• この機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィックスをダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、<i>keypad-character</i> の長さは 2 ~ 4 文字で、先頭文字または末尾文字をアスタリスク (*) またはシャープ (#) にする必要があります。</li> <li>• Cisco IOS 15.0(1)M 以降のリリースで、この機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィックスまたは特殊文字をダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、<i>keypad-character</i> の長さを 3 桁または 4 桁の数字 (000 ~ 9999) にする必要があります。</li> </ul>
<p><b>ステップ 7</b> <code>cancel-call-waiting keypad-character</code></p> <p><b>例:</b> Router(config-stcapp-fac)# cancel-call-waiting 9</p>	<p>(任意) すべての FXS ポートでコール待機をキャンセルするためのコードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• このコマンドは、Cisco IOS Release 15.1(1)T 以降のリリースでサポートされます。</li> <li>• <i>keypad-character</i> : 電話機のキーパッドでダイヤルできるストリング。使用できる値は 1 桁の数字 (0 ~ 9)、2 桁の数字 (00 ~ 99)、# または * です。デフォルト値は 8 です。</li> <li>• この機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィックスをダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、<i>keypad-character</i> の長さは 2 ~ 4 文字で、先頭文字または末尾文字をアスタリスク (*) またはシャープ (#) にする必要があります。</li> </ul>

コマンドまたはアクション	目的
<p><b>ステップ 8</b> <code>meetme-conference keypad-character</code></p> <p><b>例 :</b>  <pre>Router(config-stcapp-fac)# meetme-conference #55</pre></p>	<p>(任意) すべての FXS ポートでミーティングをイネーブルにするために使用するコードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このキーワードは、Cisco IOS Release 12.4(20)YA 以降のリリースでサポートされます。</li> <li><code>keypad-character</code> : 電話機のキーパッドでダイヤルできるストリング。デフォルト値は 5 です。</li> <li><code>keypad-character</code> の長さは 1 文字 (0 ~ 9、*、#) または 2 桁の数字 (00 ~ 99) です。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この機能にアクセスするために、アナログ電話機ユーザがプレフィクスをダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、長さは 2 ~ 4 文字で、先頭文字または末尾文字をアスタリスク (*) またはシャープ (#) にする必要があります。</li> <li>Cisco IOS 15.0(1)M 以降のリリースで、この機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィクスまたは特殊文字をダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、<code>keypad-character</code> の長さを 3 桁または 4 桁の数字 (000 ~ 9999) にする必要があります。</li> </ul>
<p><b>ステップ 9</b> <code>pickup local keypad-character</code></p> <p><b>例 :</b>  <pre>Router(config-stcapp-fac)# pickup local 6</pre></p>	<p>(任意) ローカルピックアップグループから、コールのピックアップ (つまりプレフィクスとコードをダイヤルしてコールをピックアップする) に使用するコードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><code>keypad-character</code> : 電話機のキーパッドでダイヤルできるストリング。デフォルト値は 3 です。</li> <li>Cisco IOS Release 12.4(20)YA およびそれ以前のリリースでは 1 文字です。値は、0 ~ 9、#、または * です。</li> <li>Cisco IOS Release 12.4(20)YA 以降のリリースでは、<code>keypad-character</code> の長さは 1 文字または 2 桁の数字 (00 ~ 99) です。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィクスをダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、<code>keypad-character</code> の長さは 2 ~ 4 文字で、ストリングの先頭文字または末尾文字をアスタリスク (*) またはシャープ (#) にする必要があります。</li> <li>Cisco IOS 15.0(1)M 以降のリリースで、この機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィクスまたは特殊文字をダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、<code>keypad-character</code> の長さを 3 桁または 4 桁の数字 (000 ~ 9999) にする必要があります。</li> </ul>

コマンドまたはアクション	目的
<p>ステップ 10 <code>pickup group keypad-character</code></p> <p>例： Router(config-stcapp-fac)# <code>pickup group 5</code></p>	<p>(任意) 別のピックアップグループから、コールのピックアップ（つまりプレフィクス、コード、ピックアップグループ番号をダイヤルしてコールをピックアップする）に使用するコードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>keypad-character</i> : 電話機のキーパッドでダイヤルできるストリング。デフォルト値は 4 です。</li> <li>• Cisco IOS Release 12.4(20)YA およびそれ以前のリリースでは 1 文字です。値は、0 ~ 9、#、または * です。</li> <li>• Cisco IOS Release 12.4(20)YA 以降のリリースでは、<i>keypad-character</i> の長さは 1 文字または 2 桁の数字 (00 ~ 99) です。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• この機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィクスをダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、<i>keypad-character</i> の長さは 2 ~ 4 文字で、先頭文字または末尾文字をアスタリスク (*) またはシャープ (#) にする必要があります。</li> <li>• Cisco IOS 15.0(1)M 以降のリリースで、この機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィクスまたは特殊文字をダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、<i>keypad-character</i> の長さを 3 桁または 4 桁の数字 (000 ~ 9999) にする必要があります。</li> </ul>

コマンドまたはアクション	目的
<p>ステップ 11 <code>pickup direct keypad-character</code></p> <p><b>例 :</b> Router(config-stcapp-fac)# pickup direct 4</p>	<p>(任意) コールを直接ピックアップする (つまりプレフィクス、コード、電話が鳴っている電話機の内線番号またはパークされているコールをダイヤルしてコールをピックアップする) に使用するコードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>keypad-character</i> : 電話機のキーパッドでダイヤルできるストリング。デフォルト値は 6 です。</li> <li>• Cisco IOS Release 12.4(20)YA およびそれ以前のリリースでは 1 文字です。値は、0 ~ 9、#、または * です。</li> <li>• Cisco IOS Release 12.4(20)YA 以降のリリースでは、<i>keypad-character</i> の長さは 1 文字または 2 桁の数字 (00 ~ 99) です。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• この機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィクスをダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、<i>keypad-character</i> の長さは 2 ~ 4 文字で、先頭文字または末尾文字をアスタリスク (*) またはシャープ (#) にする必要があります。</li> </ul> <p><b>(注)</b> このコマンドは Cisco Unified Communications Manager でサポートされていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco IOS 15.0(1)M 以降のリリースで、この機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィクスまたは特殊文字をダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、<i>keypad-character</i> の長さを 3 桁または 4 桁の数字 (000 ~ 9999) にする必要があります。</li> </ul>
<p>ステップ 12 <code>end</code></p> <p><b>例 :</b> Router(config-stcapp-fac)# end</p>	<p>STC アプリケーション機能アクセス コード コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。</p>

## 例

次に、イネーブル化された FAC と、一部のデフォルト設定に加えられた変更の例を示します。

```
Router# show running-config
.
.
.
stcapp feature access-code
prefix *#
call forward all 2
call forward cancel 9
!
```

**show stcapp feature codes** コマンドからの次の出力は、FAC のデフォルト設定と非デフォルト設定を示しています。FAC プレフィクスは \*# (アスタリスク、シャープ) に設定されています。

```
Router# show stcapp feature codes

stcapp feature access-code
malicious call ID (MCID) ***
prefix *#
```



```

call forward all *#2
call forward cancel *#9
pickup local group *#3
pickup different group *#4
pickup direct *#6
cancel call waiting *#9

```

### Cisco IOS Release 12.4(20)YA 以降のリリース

次の設定例では、機能コードは 2 文字以上で、アスタリスク (\*) またはシャープ (#) で開始または終了して、柔軟性のある FAC にしているため、電話機ユーザは Call Forward All 機能と Call Forward Cancel 機能にアクセスするために、FAC プレフィクスをダイヤルする必要はありません。電話機ユーザは #74 をダイヤルし、確認トーンの後、すべての着信コールを相手先の電話番号に転送するための番号をダイヤルする必要があります。

```

Router# show running-config
.
.
.
stcapp feature access-code
call forward all #74
call forward cancel 18#

```

**show stcapp feature codes** コマンドからの次の出力は、FAC のデフォルト設定と非デフォルト設定を示しています。この設定では、すべての FAC 設定がデフォルト値になっています。

```

Router# show stcapp feature codes

stcapp feature access-code
malicious call ID (MCID) ***
prefix **
call forward all **1
call forward cancel **2
pickup local group **3
pickup different group **4
pickup direct **6
meetme-conference **5
cancel call waiting **8

```

## 機能短縮ダイヤル コードのイネーブル化と変更

FSD をイネーブルにするには、デフォルトの (\*) 以外のプレフィクスと短縮ダイヤル コードを定義し、Cisco 音声ゲートウェイで次の手順を実行します。



(注)

この手順によって、アナログ電話機ユーザが、コール制御デバイスで設定された 99 件までの短縮ダイヤル番号にアクセスできるようになります。9,999 件までのバルク短縮ダイヤル番号を使用する場合は、Cisco 音声ゲートウェイでの特定の設定は不要です。9,999 件までの短縮ダイヤルの設定の詳細については、ご使用のコール制御システムのマニュアルを参照してください。

### 前提条件

- 0 ~ 9 の短縮ダイヤル コードは、Cisco IOS Release 12.4(2)T 以降のリリースで使用できます。10 ~ 99 の短縮ダイヤル コードは、Cisco IOS Release 12.4(6)T 以降のリリースで使用できます。

- Cisco Unified CME が管理するアナログ電話機で 34 ~ 99 の短縮ダイヤルコードを使用する場合は、テレフォニー サービス コンフィギュレーション モードで電話帳へのエントリを設定する必要があります。次の例では、短縮ダイヤルコード 34 と 35 の電話帳へのエントリを設定します。アナログ電話機ユーザが 34 をダイヤルすると、内線番号 1602 がダイヤルされます。

```
Router(config)# telephony-service
Router(config-telephony)# directory entry 34 1602 name payroll
Router(config-telephony)# directory entry 35 1603 name security
```

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Express System Administration Guide』の「[Configuring Speed Dial](#)」を参照してください。

- 電話機ユーザがプレフィクスをダイヤルする必要のないリダイヤル用の FSD を設定する場合は、Cisco IOS Release 12.4(20)YA 以降のリリース。
- 数字だけのリダイヤル用 FSD を設定する場合は、Cisco IOS 15.0(1)M 以降のリリース。

## 制約事項

- Cisco IOS 12.4(20)YA 以降のリリースで、複数の機能コードまたは短縮ダイヤルコード、あるいはリダイヤル FSD に同じ値を設定すると、システムは、**show stcapp feature codes** コマンドの出力で示される優先順位の中で、最初に一致した機能を実装します。
- Cisco IOS 12.4(20)YA 以降のリリースで、FAC の機能コードまたはリダイヤル FSD を含む FSD の短縮ダイヤルコードに、除外した値または別のコードで除外された値を設定すると、システムは、最初に最短の機能コードで機能を実装します。除外されたコードは実装できません。

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **stcapp feature speed-dial**
4. **digit number**
5. **prefix prefix-string**
6. **speed dial from digit to digit**
7. **redial keypad-character**
8. **voicemail keypad-character**
9. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

コマンドまたはアクション	目的
<p><b>ステップ 3</b> <code>stcapp feature speed-dial</code></p> <p><b>例:</b> Router(config)# stcapp feature speed-dial</p>	<p>FSD コードをイネーブルにし、STC アプリケーション機能短縮ダイヤル コンフィギュレーション モードを開始して、短縮ダイヤル プレフィクスとコードを設定します。</p>
<p><b>ステップ 4</b> <code>digit number</code></p> <p><b>例:</b> Router(config-stcapp-fsd)# digit 2</p>	<p>(任意) 短縮ダイヤル コードに使用する桁数を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このコマンドは、Cisco IOS Release 12.4(6)T 以降のリリースでサポートされます。</li> <li><i>number</i>: 短縮ダイヤル コードを入力するための桁数です。値は 1 または 2 です。デフォルト値は 1 です。</li> </ul> <p><b>(注)</b> このコマンドを変更すると、<b>speed dial</b> コマンドと <b>voicemail</b> コマンドがデフォルトにリセットされます。</p>
<p><b>ステップ 5</b> <code>prefix prefix-string</code></p> <p><b>例:</b> Router(config-stcapp-fsd)# prefix ##</p>	<p>(任意) 次のキーパッド文字が機能短縮ダイヤル コードを示すように、プレフィクス ストリングを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><i>prefix-string</i>: 電話機のキーパッドでダイヤルできる 1 ~ 5 文字。先頭の文字はアスタリスク (*) または シャープ (#) にする必要があります。デフォルト値は * です。</li> </ul>
<p><b>ステップ 6</b> <code>speed dial from digit to digit</code></p> <p><b>例:</b> Router(config-stcapp-fsd)# speed dial from 2 to 7</p>	<p>(任意) 短縮ダイヤル番号のダイヤルに使用するコードの範囲を昇順または降順で設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><i>digit</i>: 短縮ダイヤル コード範囲の開始番号と終了番号です。範囲は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 桁のコードは 0 ~ 9 です。最高 9 件の短縮ダイヤル コードを設定できます。そのため、開始番号を 0 に設定すると、終了番号に設定できる最大の番号は 8 になります。デフォルトは 1 ~ 9 です。</li> <li>2 桁のコードは 00 ~ 99 です。最高 99 件の短縮ダイヤル コードを設定できます。デフォルトは 01 ~ 99 です。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>(注)</b> 指定できる桁数は、<b>digit</b> コマンドで設定した値によって異なります。</p>

コマンドまたはアクション	目的
<p>ステップ7 <code>redial keypad-character</code></p> <p>例： Router(config-stcapp-fsd)# redial 9</p>	<p>(任意) 最後にダイヤルされた番号のリダイヤルに使用するコードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>keypad-character</i> : 電話機のキーパッドでダイヤルできるストリング。デフォルトは # です。</li> <li>• Cisco IOS Release 12.4(20)YA およびそれ以前のリリースでは 1 文字です。値は、0 ~ 9、#、または * です。</li> <li>• Cisco IOS Release 12.4(20)YA 以降のリリースでは、<i>keypad-character</i> の長さは 1 文字または 2 桁の数字 (00 ~ 99) です。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• この機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィクスをダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、<i>keypad-character</i> の長さは 2 ~ 4 文字で、先頭文字または末尾文字をアスタリスク (*) またはシャープ (#) にする必要があります。</li> <li>• Cisco IOS 15.0(1)M 以降のリリースで、この機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィクスまたは特殊文字をダイヤルしなくても済むようにコードを設定する場合は、<i>keypad-character</i> の長さを 3 桁または 4 桁の数字 (000 ~ 9999) にする必要があります。</li> </ul>
<p>ステップ8 <code>voicemail keypad-character</code></p> <p>例： Router(config-stcapp-fsd)# voicemail 8</p>	<p>(任意) Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified CME ルータで定義されたボイスメール番号のダイヤルに使用するコードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>keypad-character</i> : 電話機のキーパッドでダイヤルできる 1 桁または 2 桁の数字。デフォルトは、1 桁の数字の場合、0 (ゼロ) で、2 桁の数字の場合、00 (2 個のゼロ) です。</li> </ul> <p>(注) 指定できる桁数は、<b>digit</b> コマンドで設定した値によって異なります。</p>
<p>ステップ9 <code>end</code></p> <p>例： Router(config-stcapp-fsd)# end</p>	<p>STC アプリケーション機能短縮ダイヤル コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。</p>

## 例

**Cisco IOS Release 12.4(2)T**

次に、イネーブル化された FSD コードと、Cisco IOS Release 12.4(2)T の一部のデフォルト設定に加えられた変更の例を示します。

```
Router# show running-config
.
.
.
stcapp feature speed-dial
 prefix ##
 redial 9
 voicemail 8
 speed dial from 2 to 7
!
```

**show stcapp feature codes** コマンドからの次の出力は、FSD コードのデフォルト設定と非デフォルト設定を示し、上記の例で設定された短縮ダイヤルの範囲が、コール制御システムでの短縮ダイヤルポジションにどのようにマップされているかを示しています。2～7の範囲が、短縮ダイヤル1～6にマップされます。Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified CME で短縮ダイヤル1に保存された電話番号をダイヤルするには、アナログ電話機ユーザは##2を押します。

```
Router# show stcapp feature codes
.
.
.
stcapp feature speed-dial
 prefix ##
 redial ##9
 voicemail ##8
 speeddial1 ##2
 speeddial2 ##3
 speeddial3 ##4
 speeddial4 ##5
 speeddial5 ##6
 speeddial6 ##7
```

**Cisco IOS Release 12.4(6)T**

次に、イネーブル化された FSD コードと、Cisco IOS Release 12.4(6)T の一部のデフォルト設定に加えられた変更の例を示します。

```
Router# show running-config
.
.
.
stcapp feature speed-dial
 digit 2
 voicemail 55
 speed dial from 11 to 17
!
```

**show stcapp feature codes** コマンドからの次の出力は、FSD コードのデフォルト設定と非デフォルト設定を示し、上記の例で設定された短縮ダイヤルの範囲が、コール制御システムでの短縮ダイヤルポジションにどのようにマップされているかを示しています。11～17の範囲が、短縮ダイヤル1～7にマップされることに注意してください。Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified CME で短縮ダイヤル1に保存された電話番号をダイヤルするには、アナログ電話機ユーザは\*11を押します。

```
Router# show stcapp feature codes
.
.
```

```
.
stccpp feature speed-dial
  prefix *
  redial *#
  speeddial number of digit(s) 2
  voicemail *55
  speeddial1 *11
  speeddial2 *12
  speeddial3 *13
  speeddial4 *14
  speeddial5 *15
  speeddial6 *16
  speeddial7 *17
```

## Cisco IOS ゲートウェイの補足機能付き SCCP 制御アナログ (FXS) ポートの設定例

次に、Cisco VG224 アナログ電話機ゲートウェイ用の設定例を示します。

```
Router# show running-config
```

```
Building configuration...
```

```
Current configuration : 3442 bytes
```

```
!
.
.
.
!
hostname Router
!
boot-start-marker
boot-end-marker
!
!
no aaa new-model
!
resource manager
!
ip subnet-zero
no ip dhcp use vrf connected
!
!
no ftp-server write-enable
!
stccpp ccm-group 1
stccpp
!
stccpp feature access-code
  prefix *#
  call forward all 2
  call forward cancel 9
!
stccpp feature speed-dial
  prefix ##
  redial 9
  voicemail 8
  speed dial from 3 to 7
!
!
```

```
template address
!
voice-card 0
!
!
!
!
!
interface FastEthernet0/0
 ip address 10.4.138.5 255.255.0.0
 duplex auto
 speed auto
!
interface FastEthernet0/1
 no ip address
 shutdown
 duplex auto
 speed auto
!
ip default-gateway 10.4.0.1
ip classless
ip route 223.255.254.0 255.255.255.0 10.4.0.1
!
ip http server
!
!
!
control-plane
!
!
!
voice-port 2/0
 caller-id enable
!
voice-port 2/1
 caller-id enable
!
voice-port 2/2
 caller-id enable
!
voice-port 2/3
 caller-id enable
!
voice-port 2/4
!
.
.
.
!
voice-port 2/23
!
!
!
sccp local FastEthernet0/0
sccp ccm 10.4.131.200 identifier 7815
sccp ccm 10.4.138.77 identifier 7825
sccp
!
sccp ccm group 1
 associate ccm 7815 priority 1
 associate ccm 7825 priority 2
!
!
dial-peer voice 500 pots
 service stcapp
```

```

port 2/0
!
dial-peer voice 501 pots
  service stcapp
port 2/1
!
dial-peer voice 502 pots
  service stcapp
port 2/2
!
dial-peer voice 503 pots
  service stcapp
port 2/3
!
dial-peer voice 504 pots
  service stcapp
port 2/4
!
.
.
.
!
dial-peer voice 523 pots
  service stcapp
port 2/23
!
!
line con 0
  exec-timeout 0 0
  transport preferred all
  transport output all
line aux 0
  transport preferred all
  transport output all
line vty 0 4
  login
  transport preferred all
  transport input all
  transport output all
!
end

```

次に、コール制御モード機能用の拡張コマンド例を示します。

これで、4文字のストリング (0 ~ 9、\*、#) を **stcapp** 機能コードで 5つの機能のコードとして設定できるようにになりました (デフォルトのコードは、最後のアクティブ コールを切る場合は #1、転送は #2、会議は #3、最後の会議出席者のドロップは #4、2つのコール間の切り替えは #5 です)。

```

VG224(config)#stcapp call-control mode feature
VG224(config-stcapp-fmcode)#?
STCAPP feature fm-code configuration commands:
  conference          Select code for conference
  default             Set a command to its defaults
  drop-last-conferee Select code for drop last conferee
  exit               Exit from stcapp feature fmcode configuration mode
  hangup-last-active-call Select code for hangup last active call
  no                 Negate a command or set its defaults
  toggle-between-two-calls Select code for toggle between two calls
  transfer           Select code for transfer

VG224(config-stcapp-fmcode)#hangup-last-active-call 456
VG224(config-stcapp-fmcode)#toggle-between-two-calls 7890

```



```
VG224(config-stcapp-fmcode)#conference 12#
VG224(config-stcapp-fmcode)#end

VG224# show stcapp feature code

stcapp feature access-code
malicious call ID (MCID) ***
prefix **
call forward all 111
call forward cancel **2
pickup local group **3
pickup different group **4
pickup direct **6
meetme-conference **5
forward-to-voicemail 1234

stcapp feature speed-dial
prefix *
redial *#
speeddial number of digit(s) 1
voicemail 777
speeddial1 *1
speeddial2 *2
speeddial3 *3
speeddial4 *4
speeddial5 *5
speeddial6 *6
speeddial7 *7
speeddial8 *8
speeddial9 *9

stcapp call-control mode in feature mode
456 -- hangup last active call
#2 -- transfer
12# -- conference
#4 -- drop last conferee
7890 -- toggle between two calls
```

## 参考資料

ここでは、Cisco 音声ゲートウェイの FXS ポート用の SCCP アナログ電話機サポートに関連する資料を示します。

## 関連資料

関連項目	参照先
Cisco Unified Communications Manager	<a href="#">Cisco Unified Communications Manager のマニュアル</a>
Cisco Unified Communications Manager Express	<a href="#">Cisco Unified Communications Manager Express のマニュアル</a>
Cisco IOS のデバッグ	『 <a href="#">Cisco IOS Debug Command Reference</a> 』
Cisco IOS の音声コマンド	『 <a href="#">Cisco IOS Voice Command Reference</a> 』
Cisco IOS の音声設定	『 <a href="#">Cisco IOS Voice Configuration Library</a> 』
Cisco 音声ゲートウェイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco VG200 シリーズのマニュアル</a></li> <li>• <a href="#">Cisco 1800 シリーズ サービス統合型ルータのマニュアル</a></li> <li>• <a href="#">Cisco 2800 サービス統合型ルータのマニュアル</a></li> <li>• <a href="#">Cisco 3800 シリーズ サービス統合型ルータのマニュアル</a></li> <li>• <a href="#">Cisco Unified 500 シリーズのマニュアル</a></li> </ul>
会議およびコード変換リソース	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『<a href="#">Cisco Unified CallManager and Cisco IOS Interoperability Guide</a>』の「<a href="#">Configuring Enhanced Conferencing and Transcoding for Voice Gateway Routers</a>」の章</li> <li>• 『<a href="#">Cisco CallManager and IOS Gateway DSP Farm Configuration Example</a>』</li> </ul>

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• テクニカル サポートを受ける</li> <li>• ソフトウェアをダウンロードする</li> <li>• セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける</li> <li>• ツールおよびリソースへアクセスする <ul style="list-style-type: none"> <li>- <a href="#">Product Alert</a> の受信登録</li> <li>- <a href="#">Field Notice</a> の受信登録</li> <li>- <a href="#">Bug Toolkit</a> を使用した既知の問題の検索</li> </ul> </li> <li>• <a href="#">Networking Professionals (NetPro)</a> コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する</li> <li>• <a href="#">トレーニング</a> リソースへアクセスする</li> <li>• <a href="#">TAC Case Collection</a> ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する</li> </ul> <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a>

# Cisco IOS ゲートウェイの補足機能付き SCCP 制御アナログ (FXS) ポートの機能情報

表 7 に、このモジュールで説明した機能をリストし、特定の設定情報へのリンクを示します。この表には、Cisco IOS Release 12.4(2)T 以降のリリースで導入または変更された機能だけを示します。

このテクノロジーの機能でここに記載されていない情報については、「補足サービスの機能ロードマップ」(P.13) を参照してください。

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースでは、一部のコマンドが使用できない場合があります。特定のコマンドのリリース情報については、コマンド リファレンス マニュアルを参照してください。

プラットフォームのサポートおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator を使用すると、特定のソフトウェア リリース、機能セット、またはプラットフォームをサポートする Cisco IOS と Catalyst OS のソフトウェア イメージを判別できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスしてください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 7 に、特定の Cisco IOS ソフトウェア リリース群で特定の機能をサポートする Cisco IOS ソフトウェア リリースだけを示します。特に明記されていない限り、Cisco IOS ソフトウェア リリース群の後続のリリースでもこの機能をサポートします。

表 7 SCCP 制御アナログ (FXS) ポートの機能情報

機能名	リリース	機能情報
コール待機のキャンセル	15.1(1)T 15.0(1)XA	<p>コール待機のキャンセル機能に FAC を追加します。</p> <p>次の項で、この機能に関する情報を参照できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「コール待機のキャンセル」(P.78)</li> <li>「機能アクセス コードの設定」(P.80)</li> </ul> <p>次のコマンドが、この機能によって導入または変更されました。<b>cancel-call-waiting</b>、<b>show stcapp device</b>、<b>show stcapp feature codes</b></p>
SCCP IOS ゲートウェイの固有呼び出し音	15.0(1)M	<p>固有呼び出し音をイネーブルにすると、着信コールが内線からか外線からかをユーザに通知できます。</p> <p>次の項で、この機能に関する情報を参照できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「FXS ポート用 SCCP 補足機能のまとめ」(P.66)</li> </ul> <p>次のコマンドが、この機能によって導入または変更されました。<b>ring cadence</b></p>

表 7 SCCP 制御アナログ (FXS) ポートの機能情報 (続き)

機能名	リリース	機能情報
SCCP アナログ電話機の拡張短縮ダイヤル	12.4(6)T	<p>コール制御デバイスに設定された最大 99 個のローカル短縮ダイヤル番号にアクセスするための、2 桁の短縮ダイヤルコードを定義できます。</p> <p>次の項で、この機能に関する情報を参照できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「SCCP アナログ電話機の拡張短縮ダイヤル」(P.77)</li> <li>「機能短縮ダイヤルコードのイネーブル化と変更」(P.87)</li> </ul> <p>次のコマンドが、この機能によって導入または変更されました。<b>digit</b>、<b>speed dial</b></p>
柔軟な機能アクセスコード	12.4(20)YA	<p>アナログ電話機での SCCP 機能にアクセスするために機能コードをダイヤルする前に電話機ユーザがプレフィクスをダイヤルしなくても済むように、Feature Access Code (FAC; 機能アクセスコード) とリダイヤル用の短縮ダイヤルコード用に機能コードを設定できます。</p> <p>次の項で、この機能に関する情報を参照できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「柔軟な機能アクセスコード」(P.75)</li> <li>「柔軟性のある機能アクセスコードのリダイヤルサポート」(P.77)</li> <li>「機能アクセスコードの設定」(P.80)</li> </ul> <p>次のコマンドが、この機能によって変更されました。<b>call forward all</b>、<b>call forward cancel</b>、<b>pickup direct</b>、<b>pickup group</b>、<b>pickup local</b>、<b>redial</b></p>
柔軟性のある FAC (拡張版)	15.0(1)M	<p>アナログ電話機の SCCP 機能にアクセスするために、電話機ユーザがプレフィクスまたは特殊文字をダイヤルしなくてもよいよう、柔軟性のある機能アクセスコード (FAC) 用の機能コードを設定できます。</p> <p>次の項で、この機能に関する情報を参照できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「柔軟な機能アクセスコード (拡張版)」(P.77)</li> <li>「機能アクセスコードの設定」(P.80)</li> </ul> <p>次のコマンドが、この機能によって変更されました。<b>call forward all</b>、<b>call forward cancel</b>、<b>pickup direct</b>、<b>pickup group</b>、<b>pickup local</b>、<b>redial</b></p>
Forward to Voice Mail	15.0(1)M	<p>Forward to Voice Mail 機能用の FAC を追加します。</p> <p>次の項で、この機能に関する情報を参照できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「アナログ FXS ポート用 SCCP 補足機能の FAC」(P.71)</li> </ul> <p>次のコマンドが、この機能によって変更されました。</p>

表 7 SCCP 制御アナログ (FXS) ポートの機能情報 (続き)

機能名	リリース	機能情報
Cisco IOS ゲートウェイの補足機能付き SCCP 制御アナログ (FXS) ポート	12.4(2)T	<p>Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified CME によって制御される Cisco VG224 アナログ電話機ゲートウェイのアナログ FXS ポートで SCCP 補足機能をイネーブルにします。</p> <p>次の項で、この機能に関する情報を参照できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「FXS ポート用 SCCP 補足機能のまとめ」 (P.66)</li> <li>「機能アクセス コードの設定」 (P.80)</li> </ul> <p>次のコマンドが、この機能によって導入または変更されました。<b>call forward all</b>、<b>call forward cancel</b>、<b>debug voip application stcapp buffer-history</b>、<b>pickup direct</b>、<b>pickup group</b>、<b>pickup local</b>、<b>prefix (stcapp-fac)</b>、<b>prefix (stcapp-fsd)</b>、<b>redial</b>、<b>show stcapp buffer-history</b>、<b>show stcapp device</b>、<b>show stcapp feature codes</b>、<b>speed dial</b>、<b>stcapp feature access-code</b>、<b>stcapp feature speed-dial</b>、<b>voicemail (stcapp-fsd)</b></p>
	12.4(9)T	<p>Cisco ISR のアナログ FXS ポートに SCCP 補足機能のサポートを追加します。</p>
SCCP ミートミー会議	12.4(20)YA	<p>アナログ SCCP 電話機ユーザが、ミートミー電話会議を開始または参加したりできるようにする FAC を追加します。ミートミー会議を開始するには、電話機ユーザが FAC プレフィクスと SCCP ミートミー会議の機能コード (デフォルトは <b>**5</b> です) を押して、ミートミー会議番号をダイヤルします。参加者は番号をダイヤルして会議に参加できます。</p> <p>次の項で、この機能に関する情報を参照できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「SCCP ミートミー会議」 (P.78)</li> <li>「機能アクセス コードの設定」 (P.80)</li> </ul> <p>次のコマンドが、この機能によって導入されました。<b>meetme-conference</b></p>

